

<緊急連絡先>

- ◎警察: TEL 101
- ◎消防・救急車: TEL 100
- ◎警察・消防・救急(EU諸国共通)
: TEL 112
- ◎休日開業医の紹介(ブリュッセル)
: TEL 02-242-4344
- ◎SOS医師派遣センター
: TEL 02-513-0202
- ◎在ベルギー日本国大使館
: TEL 02-513-2340
大使館領事部: TEL 02-500-0580

<当館案内地図>



公共交通機関: 地下鉄(2,6)TRONE/TROON,
バス(27,34,38,64,80,95)Science/Wetenschap

ようこそベルギーへ

～安全な旅を続けるために～

2014年版



在ベルギー日本国大使館

住所: Square de Meeûs / De Meeussquare 5-6,
1000 BRUXELLES / BRUSSEL
電話: +32-(0)2-513-2340
+32-(0)2-500-0580(領事部直通)
Fax: +32-(0)2-513-1556
+32-(0)2-513-4633(領事部直通)
窓口時間: 午前9時15分～12時
午後1時30分～4時
URL: <http://www.be.emb-japan.go.jp/japanese/index.html>

<「帰国のための渡航書」 申請必要書類>

渡航書発給申請書(来館時に記入)
写真2枚(カラー・白黒どちらでも可)
縦4.5cm×横3.5cm
6ヶ月以内に撮影。
警察発行の盗難・紛失届証明書
本人の日本国籍が確認できる書類:
戸籍謄本(抄本)又は
本籍地の記載されている住民票。
(後日原本を送付することを誓約の上,
写しで対応可能な場合があります。)
帰りの航空券又は航空券予約証明書

<クレジットカード紛失連絡先>

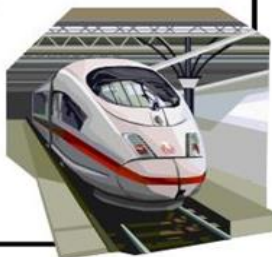
VISA, 三井住友VISAカード, しんきんクレジット
サービス, 三井住友トラストカード, 東京クレ
ジットサービス(MUFG): 00-800-12121212
JCBカード: 0800-7-1073
三菱UFJニコス: 00-800-02491468
MasterCard: 0800-307-7309
NICOSカード: 00-800-99-860860
Aplus アプラス: 0081-3-3865-4751
JACCS: 0081-3-6758-0707
ORICO: 0081-11-700-2952
セゾンカード(クレディセゾン): 0800-1-6546
Life Cardライフカード: 0081-3-3431-1037
UCカード: 00-800-80058005
日本ダイナースクラブ: 0081-45-523-1196
マルイカード(Epos Card): 0081-3-5340-3333
American Express (Amex): 0044-20-8840-6461
Cedyna (OMC): 0800-7-2321
シティバンク: 0081-45-330-2890



ベルギーで安全に過ごすために
ベルギーは、ヨーロッパ諸国の中でも必ずしも治安の良い国とは言えません。最新の欧州委員会統計局の統計(2012年)でも、犯罪総件数はEU内で9番目に多いとされています。幸い2013年には過去5年で最低の犯罪発生件数となったものの、駅・観光地・ホテルでは、スリや置き引き、ひったくり、また、詐欺などに遭う邦人が未だに多く見受けられます。たとえば、「窃盗」が人口10万人に発生する割合は、日本の場合、774.8件程度ですが、ベルギーでは、2377.3件程度と、3倍以上の発生件数があります。日本と同じ気持ちでいると、いろいろな犯罪に巻き込まれる可能性があります。このリーフレットをお読みになって、ベルギーでの滞在が安全で楽しいものとなるよう参考として頂ければ幸いです。

犯罪発生場所

当館が認知している邦人被害は、2011年が197件、2012年が208件、2013年が108件と昨年は大幅に減少しています。しかし、その発生場所には大きな変化はありません。ブリュッセルにおいては、南駅、グランプラス周辺、乗り物内、路上、ホテル内が主な被害場所となっています。また、アントワープ、ブリュージュ等の地方都市における被害事例もありますが、同じように、鉄道の駅や路上での被害が届けられています。



ホテルで

- ・朝食のビュッフェ会場で席を確保するために机にバッグを乗せておくことは絶対にやめて下さい。
- ・出発時にフロントが混雑しているため待つようなことがあっても、貴重品から目を離さないで下さい。

駅・乗り物内・路上で

貴重品を盗られる多くの場合、犯人は複数であり、注意をそらす担当、物を盗る担当が分かれているようです。被害に遭う状況はたとえば以下のとおりです。

- ・服が汚れていると教えてくれる。
- ・荷物を電車に乗せたり下ろしたりするのを手伝ってくれる。
- ・プラットフォームから窓越しに何か話しかけられる。

知らない人から急に話しかけられたり、服が汚れている等教えられたりしたら、まず、貴重品を確かめて身近に置いて下さい。犯人は、あなたの気をそらしている隙に、貴重品を持ち去ろうとしています。

また、以下のことにも注意して下さい。

- ・網棚に貴重品を置かない。
- ・ひったくり被害を避けるため、スマートフォンなどの高価なデバイスを人前で使用しない。
- ・ひったくりは、人通りの少ない道で発生することが多いので、できる限り人通りの多い道を歩くよう心がける。
- ・犯罪を避けるため、南駅などに到着する場合は、到着時刻にも気を配り、明るい時間帯を選ぶ。



詐欺に遭わないために

- ・私服警官を名乗る者から持ち物検査と称してクレジットカードの提示を求められたり、暗証番号を聞かれた場合、身分証明書の提示を求めるか、その場で警察官を呼んで下さい。
- ・お金を落としたので貸してほしいとか、両替をしてほしい等理由をつけ、財布を出させようとしたり、クレジットカードの暗証番号を聞くとする人がいたら、拒絶し速やかに立ち去って下さい。

レストランで

- ・客引きが呼び込むようなレストランは避けた方が賢明です。事前にレストランの評判を調べておくといいいでしょう。それでも、当初言われていた金額以上の請求をされた場合、その場で警察官を呼んで仲裁を頼んで下さい。
- ・カバンを椅子の背もたれに引っかけたり、自分の背中と椅子の背もたれの間に入れておくと、置き引き被害に遭うことがあります。



犯罪被害に遭わないために

一旦犯罪被害に遭ってしまうと、予定の変更を余儀なくされたり、同行者や日本にいる家族にまで迷惑をかけることにもなりかねません。一方、見知らぬ人から話しかけられても持ち物に気を配りできるだけ速やかにその場を離れたり、高価な物を所持していることを周りに知られないようにしたり、また、電車での移動も・町歩きも人通りの多い時間帯にしたりすることで、犯罪の被害から逃れられる可能性は大いにあります。

快適で安全な旅を続けるためにも、一瞬の気の緩みが楽しい旅を台無しにすることがないように、どうか、気をつけてベルギーの旅をお過ごし下さい。